



RUSH

DETAILING LINE

POLISHING SYSTEM

使用ツール

LHR 15 MarkIII



HLR75 MINI IBRID



オービタルポリッシャー、ギアードライブポリッシャー用 D-Aバフ



ライトブル
(DACOARSE)
細目



ライトイエロー
(DA-FINE)
微粒子



(UNO PURE)
ULTRA-FINE



REALE
MAGIC SHINE



下地形成の重要性

コーティングの効果は下地によって大きく左右されます。塗装の細かな凹凸を平にすればするほど効果は上がっていきます。

『研磨』はコーティングの性能を最大限発揮させるための技術です。研磨を施すことで塗装本来の輝きを引き出し、コーティングすることで、美しさは何倍にもなります。

確かな技術と最新のツールでお客様の期待を超える『感動』を提供していきましょう。

塗装状態別研磨工程

1 鏡面研磨編

2 スタンダード研磨～ライト研磨編

3 ピアノブラック塗装研磨編

～鏡面研磨編～

塗装状態

1500番程度

- ・引っ掻きキズ（爪にひっかかる）
- ・重～中程度のウォータースポット（陥没クレーターは消せません）

2500番程度

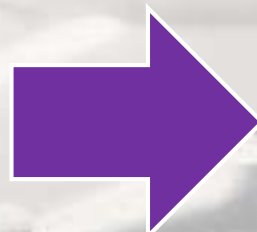
- ・洗車キズ（ヘアライン・スワール）
- ・中程度のウォータースポット

3000番程度

- ・うすいきズ（目視しづらい）
- ・軽度の水シミ

仕上げ

- ・最終仕上げ
- ・オーロラ除去



淡色

濃色

軟塗装系



OR



鏡面研磨 ～解説～

仕上がりイメージ

全体のキズをほぼ除去（深すぎるキズは追わない）し、新車の状態に近づける

施工の流れ

- ① マスキング（ワイパー周り・ガラス・樹脂パーツ・ゴムパーツ等）
- ② 『ルペス青+ウールバフ』で全体のシミ・キズを除去
- ③ ②で付いた磨き痕を『ルペス黄+ウレタンバフ黄』で除去
- ④ ③で付いた微細な磨き痕を『マジックシャイン+ウレタン白』で仕上げる
- ⑤ 『ゼロリムーバー』で脱脂洗車

鏡面研磨 ～ポイント～

2～3工程かけてキズを置き換えながら、肉眼で見えなくなるレベルまで小さくする

塗装の硬さ・軟らかさにもよりますが、比較的メタリック系は仕上がりが容易です。逆に濃色車のソリッド系は困難な場合が多いです。

磨き痕（バフ目）は回転痕やチリ目・オーロラマークと様々ありますが、LEDライトや太陽光など光源を使って仕上がりをチェックしていきます。

2工程でも仕上がりがやすい車種

- ・ベンツ・BMW・VWなど輸入車系
- ・淡色や濃色メタリック系

仕上がりが難しい車種

- ・ホンダ黒系
- ・トヨタ202ブラック
- ・日産スクラッチシールド
- ・スバル黒系

～スタンダード研磨～ライト研磨編～

塗装状態

スタンダード研磨

- ・経年車で洗車キズが多い
- ・クリーナーで落ちない水シミ
- ・汚れ・キズ・シミでぼやけている

ライト研磨

- ・新車時でうすいキズやシミがある



軽研磨（経年車）

スタンダード研磨



※



艶出し研磨（新車）

ライト研磨



OR



※ キズの目立つパネルや上面のみルペスで磨き、全体はマジックシャインで仕上げるイメージ

スタンダード研磨 ～解説～

仕上がりイメージ

キズが少なくなりはっきりとした艶がでる。立ち目線で見える箇所（ボンネット等）のキズはほぼ見えなくなるレベル

施工の流れ

- ① マスキング（ワイパー周り・ガラス・樹脂パーツ・ゴムパーツ等）
- ② 『ルペス黄+ウレタンバフ黄』でボンネット・ドア上部・トランク・バックパネルのキズを除去
- ③ 残りのパネルを『マジックシャイン+ウレタンバフ黄』で除去
- ④ 『リフレッシュクリーナー』で拭き上げし脱脂

スタンダード研磨 ～ポイント～

基本1ステップ仕上げ。見えやすい上部は特にキズを減らす

研磨力 ルペス（黄） ➤ マジックシャイン

見えやすいボンネットやトランク・ドア上部はしっかり磨き、残りをマジックシャインで整えます。

ただし、研磨力が強いほど磨き痕が残りますので、バフ目が出るようであればマジックシャインも併用。

ライト研磨（艶出し） ～解説～

仕上がりイメージ

新車時のうすいきずやクリアのくすみを除去し、本来の新車塗装状態にする。

施工の流れ

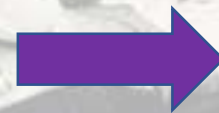
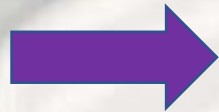
- ① マスキング（ワイパー周り・ガラス・樹脂パーツ・ゴムパーツ等）
- ② 『マジックシャイン+ウレタンバフ白』で全体を磨く
- ③ 『リフレッシュクリーナー』で拭き上げし脱脂

艶出し研磨 ～ポイント～

全体をさらっとマジックシャインで磨くだけでOK

新車でも鉄粉やシミ・キズは少なからずあります。えっ？と疑うほどキズだらけなんてことも多々あります。艶出し研磨の目的はキズ抜きはもちろん、クリアー塗装の上にわずかにできた酸化被膜を除去することで本来の新車の輝きを取り戻すことです。

～ピアノブラック塗装研磨編～



ウレタン（黄）+スピード3

ウレタン（ソフト）+スピード2

after before

ピアノブラック塗装は非常に繊細でキズも入りやすい塗装です。
鏡面研磨と工程は同じですが、なるべくポリッシャーの回転数を落とし、ゆっくり動かすことがポイントです。

よほどの深いキズがある場合を除いて初期研磨はウールバフはおすすめしません。（チリ目回収に苦労します）
ポリッシャーはバフを加圧せずに軽く押し当て、回転を意識しながら操作します。